

音楽朗読劇「ヘブンズ・レコード～青空篇～」開催！

～震災から5年…… 被災地で、僕たちは生きてる～

1995年1月17日 午前5時46分52秒、それは突然襲ってきた。

一瞬にして崩れ去る建物、押し潰される命…。容赦なく襲いかかる炎。しかし、目の前にいるのに助けることが出来ない命、、、離さざるを得なかった手と手。生き残った者に追い打ちをかける、“現実”という大きな壁。そして後悔の念。震災から四半世紀。みんなで「あきらめるな」と呼びかけたその思いは、年月の経過と共に忘れられてしまうのか？



これは地震など決して来ないと思われていた“神戸”で今も続く現実

近年、日本全国で毎年のように起こる自然災害。それは明日、自分に降りかかることも知れない。今、すぐそばで笑っている大切な人を失ってしまうかも知れない。それを防ぐためにはどうすればいいのか。 私たちはこの舞台を通し、災害の恐ろしさ、そして被災後も続く苦悩を“実体験”してもらい、人と人の絆の大切さ、命の大切さ、今を生きるすばらしさを感じ、必ずくる大きな災害への備えにしてもらいたい。そう願い開催いたします。

〈“未来へ生きる”演劇実行委員会・神戸新聞社・117KOBEBおうさい委員会〉

117KOBEBおうさい委員会

阪神・淡路大震災から20年が経過することを機に、次代に震災を伝えるべく、神戸市と神戸新聞社が2014年に立ち上げた。現在も震災に関わるワークショップや講習会など様々な活動を県内外で行っている。

▶主なあらすじ

……2000年、夏。阪神・淡路大震災から5年後の神戸。

すさまじい早さで「物理的に」復興していく街の様子がラジオから語られる。そんな街の片隅に、一台のワゴン車が止まっていた。毎日移動して青空市を開く『ヘブンズ・レコード』だ。看板には『あなたのためのレコード、あります』とある。音楽にやたら詳しい店長と、ミュージシャンを目指すバイトのタケルがいて、いつもカーラジオから葛西花のラジオ番組が流れていた。そんな店へレコードを売ったり、買いに来たりする客がいる。どの客も、震災の悲しみから立ち上がろうとしていた。だがどうしても、乗り越えられない心の傷がある。そんな彼らに、店長は救いのレコードを差し出すのであった……。イメージ映像とともに送る、切なくも前向きな、三つのお話のオムニバス朗読劇です。

音楽朗読劇「ヘブンズ・レコード～青空篇～」

＜東京公演＞有楽町よみうりホール

10月10日（水） 昼14：30 夜18：30

10月11日（木） 昼14：30 夜18：30

10月12日（金） 昼12：00 夜15：30

＜神戸公演＞神戸新聞 松方ホール

10月18日（木） 夜19：00

10月19日（金） 昼15：00 夜19：00

10月20日（土） 昼14：00 夜18：00

10月21日（日） 昼12：00 夜16：00

特設サイト：<https://www.miraiheikiru.jp/hr-a>

主催

“未来へ生きる”演劇実行委員会／神戸新聞社／117KOBEBおうさい委員会

▶注目ポイント

『生演奏 × 朗読 × 映像』の作り上げる新しい空間演出！

観客の想像力を大きくかき立てる朗読劇ならではの演出が、震災後の街に灯る一筋の希望を温かく描き出す。

震災で被災しながらも、そこで暮らす人々。それぞれに抱える「心の傷」を出演者それぞれが想いを込めて表現。

それは観る人たちに、生きることのすばらしさを伝えます。

生演奏と映像が、出演者の表現力とコラボするその瞬間、忘れることができない感動で、きっと誰もが涙することでしょう。

▶出演について

豪華出演陣によるダブルキャスト公演！！



紫吹 淳



貴城 けい



荒牧 慶彦



前山 剛久



渡辺 裕之

< 第一話 >

武田 航平 / 村田 洋二郎 / 石田 晴香 / 平田 りえ / 田野 優花 / Machico

< 第二話 >

半田 健人 / 伊阪 達也 / 佐藤 美希 / 田中 良子

< 第三話 >

上田 堪大 / 馬庭 良介 / 久住 小春 / 山口 立花子

テーマソング 花*花 / 劇中演奏 佐藤はるひ

作・演出 岡本 貴也

音楽朗読劇「ヘブズ・レコード～青空篇～」

<東京公演>有楽町よみうりホール

10月10日(水) 昼14:30 夜18:30

10月11日(木) 昼14:30 夜18:30

10月12日(金) 昼12:00 夜15:30

<神戸公演>神戸新聞 松方ホール

10月18日(木) 夜19:00

10月19日(金) 昼15:00 夜19:00

10月20日(土) 昼14:00 夜18:00

10月21日(日) 昼12:00 夜16:00

特設サイト：<https://www.miraiheikiru.jp/hr-a>